

日本中東学会第33回年次大会
Japan Association for Middle East Studies Annual Meeting 2017

プログラム（準正式版）

Program
Panel Sessions & Paper Presentations



開催日時：2017年5月13日（土）—14日（日）

Date: Sunday, 13th-14th May, 2017

会場：九州大学箱崎キャンパス文系地区共通講義棟

Venue: Common Lecture Building, Humanities Area,
Hakozaki Campus, Kyushu University

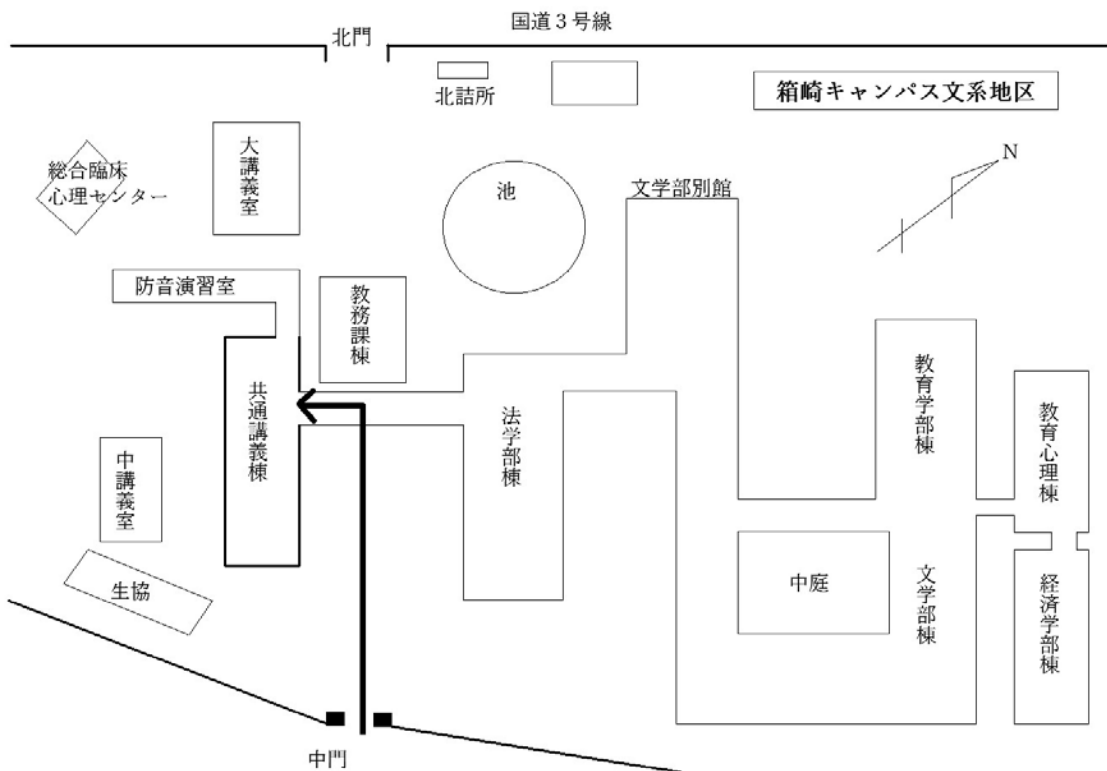


九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

九州大学箱崎キャンパス
Map of Hakozaki Campus, Kyushu University



文系地区
Map of Humanities Area, Hakozaki Campus, Kyushu University



5月13日(土)

公開シンポジウム

**「元寇」とイスラーム：
モンゴル帝国の拡大がもたらした社会変革と中東**

2017年度日本中東学会大会の開催地となる九州大学箱崎キャンパスでは、昨年、中央図書館の敷地内から新たな元寇防塁が発見されました。日本に襲来し大きな社会変革をもたらしたモンゴル帝国勢力は、中東においても、社会へのダイナミックな影響をもたらしています。本シンポジウムでは、中東と日本が同時代に体験した社会変動の意味を、ユーラシア大陸規模の歴史の展開のなかで考えてみたいと思います。

13:00-13:15 開会あいさつ、趣旨説明

13:15-15:25 シンポジウム報告

船田 善之 (広島大学・モンゴル帝国史)

「モンゴルの征服と統治—遊牧国家から世界帝国への変貌？」

堀本 一繁 (福岡市博物館・日本中世史)

「蒙古襲来と異国警固体制」

中町 信孝 (甲南大学・マムルーク朝史)

「アラブが見た「モンゴル襲来」—アイン・ジャールートからISまで」

渡部 良子 (東京大学・イルハン朝史)

「イランにおける「モンゴル襲来」—モンゴルによる統治の受容とイメージの変遷」

15:25-15:45 休憩

15:45-16:45 ディスカッション・質疑応答

16:45-16:55 閉会あいさつ

17:00-18:00 日本中東学会総会 (会員のみ)

18:30-20:30 懇親会 (九大生協・中央食堂)

5月14日(日)

【企画セッション】

企画セッション1 (12:40-14:40)

イスラーム・ジェンダー学の未来：セクシュアリティにみる国家・宗教・ジェンダー

司会・モデレーター 後藤 絵美 (東京大学)

報告1 保井 啓志 (東京大学・院)

「愛国主義・排外主義と性的少数者：イスラエルを事例に」

報告2 澤口 右樹 (東京大学・院)

「イスラエル国防軍の女性兵士：宗教と世俗の狭間で」

報告3 鳥山 純子 (日本学術振興会特別研究員)

「生殖に関わるカイロの大衆言説に見るイスラーム、国家、セクシュアリティ」

ディスカッサント 村上 薫 (アジア経済研究所)

企画セッション2 (12:40-14:40)

望ましいアラビア語教科書とは：教授法の見地から

企画・司会 榮谷 温子 (慶應義塾大学)

報告1 近藤 久美子 (大阪大学)

「アラビア語の文法履修：国内外の教科書の事例から」

報告2 岡崎 英樹 (四天王寺大学)

「外国語教授法の変遷からみた *Elementary Modern Standard Arabic*」

報告3 榮谷 温子

「第二言語の項目の習得順序やその難易」

コメンテーター 竹田 敏之 (京都大学)

企画セッション3

Toward Multilayered Relations between the Gulf and Asia

Organizer: NAKAMURA Satoru (Kobe University)

Moderator: Abdullah BAABOOD (Qatar University)

1. Steven WRIGHT (Qatar University)

“The Impact of the Changing East-Asian LNG Market on Qatar’s Energy Policy”

2. NAKAMURA Satoru

“Challenges for Qatar and Japan to Build Multilayered Relations”

3. HORINUKI Koji (The Institute of Energy and Economics, Japan)

“Japan-UAE Relations: A Study on the Energy Resource Strategy and the Multi-layered Bilateral Relationship”

Discussants: YOKOTA Takayuki (Meiji University), Abdullah BAABOOD

Saudi Arabia Paths towards New Moderation and Future Measures in 2030
under the Current Political Turmoil

Chairman: Essam BUKHARY (King Abdul Aziz University)

1. Alhasan ALMANAKHRAH (Prince Khalid AL-Faisal Centre for Moderation)

“Saudi Arabia Paths towards New Moderation and Future Measures in 2030
under the Current Political Turmoil ”

2. Tariq ELYAS (King Abdulaziz University)

“Examining New Media Usage in Compacting Extremism Behavior and Attitude in Saudi Arabia”

3. Almaddah AMR (King Abdulaziz University)

“New Media Platforms as a Tool for both Promoting and Countering: Terrorism in the Middle East”

【個人研究発表】

第1部会

9:45-10:25 Qolamreza NASSR (Hiroshima University, J)

“Movements toward Democracy in Iran: Reciprocal Influence of Ulama and Intellectuals”

10:30-11:10 SATO Noriko (Pukyong National University)

“Constructing Ethnic Identity among the Syriac Orthodox Christians in North-Eastern Syria
under the Syrian Civil War”

11:15-11:55 Scott MORRISON (Middlesex University)

“Islamic Banking in the Islamic Republic of Iran”

第2部会

9:00-9:40 森山 央朗 (同志社大学)

「10-12世紀におけるホラーサーン系「ハディースの徒」の理論展開と自己認識」

9:45-10:25 篠田 知暁 (日本学術振興会特別研究員)

「18世紀ファースの都市社会におけるマジュズーブ」

10:30-11:10 中町 信孝 (甲南大学)

「イブン・アイニーの生涯：武人か文人か？」

11:15-11:55 橋爪 烈 (千葉科学大学)

「ルトフィー・パシャのカリフ論：その思想的背景について」

14:50-15:30 徳永 佳晃 (東京大学・院)

「17世紀後半におけるサファヴィー朝・ムガル朝関係の転換：
カンダハール地方をめぐる両朝の係争に着目して」

15:35-16:15 朝田 郁 (京都大学)

「ハドラーミー移民の生きる世界：インド洋西海域を旅したアラブの軌跡」

16:20-17:00 近藤 信彰 (東京外国語大学)

「サファヴィー朝期イラン法廷制度再考」

第3部会

9:00-9:40 秋葉 淳 (千葉大学)

「ディーワーンと法廷：18世紀オスマン帝国の地方における司法行政」

9:45-10:25 岩本 佳子 (日本学術振興会特別研究員)

「参照資料としての租税台帳：

オスマン朝行政における17世紀以降の租税台帳の活用に関する考察」

10:30-11:10 佐治 奈通子 (東京大学・院)

「15-16世紀におけるオスマン朝の鉱山開発：

クラトヴァ鉱山をめぐる地域、人、組織のつながりの一考察」

11:15-11:55 永島 育 (早稲田大学・院)

「アブデュルハミト二世時代におけるオスマン語の地理叙述について」

14:50-15:30 宇野 陽子 (津田塾大学)

「トルコにおける女性参政権の導入：議会・運動・国際関係の視点から」

15:35-16:15 幸加木 文 (千葉大学)

「2016年クーデタ未遂事件が示すトルコの「イスラーム派」の変動」

16:20-17:00 今井 宏平 (日本貿易振興機構アジア経済研究所)

「シリア難民の定住に向けた一考察：トルコの過去の難民受け入れとの比較研究」

第4部会

9:00-9:40 縄田 浩志 (秋田大学)

「黒サング製の数珠“sibhat al-yusr”の特質について」

9:45-10:25 池田 昭光 (東京外国語大学)

「宗派主義的社会と相互行為：レバノンのフィールドワーク資料の例から」

10:30-11:10 佐藤 麻理絵 (日本学術振興会特別研究員)

「現代ヨルダンにおけるホスト社会形成：レジティマシーをめぐる一考察」

11:15-11:55 千坂 知世 (大阪大学・院)

「イラン対外政策決定過程における国会の役割：

第9期国会によるJCPOAの履行承認を事例として」

14:50-15:30 白杵 悠 (一橋大学・院)

「移住がつくる国家ヨルダン：人口センサスと世帯調査から」

15:35-16:15 小島 宏 (早稲田大学)

「西欧ムスリム移民二世におけるコーラン教室通学と宗教的食事制限」

第5部会

9:00-9:40 鷺見 朗子（京都ノートルダム女子大学），鷺見克典（名古屋工業大学）

「アラビア語集中講座合宿：

アラビア語学習の動機づけ向上を目指した講座の概要とその効果」

9:45-10:25 アブドラー・アルモーメン（東海大学）

「日ア語の視点と表現の違い：発想と表現をめぐって」

10:30-11:10 竹田 敏之（京都大学）

「インターネット時代における湾岸メディアを通じた現代アラビア語の多様化とその展望」

11:15-11:55 相樂 悠太（東京大学・院）

「イブン・アラビーによる「心が神を含む」という神聖ハディース解釈：

先行スーフイーとの比較を通じて」

14:50-15:30 大淵 久志（東京大学・院）

「ファフルッディーン・ラーズイーの天使論と倫理思想」

15:35-16:15 早川 英明（東京大学・院）

「マフディー・アーミルの思想における国家と宗派主義の関係」

16:20-17:00 桐原 翠（京都大学・院）

「ハーシム・カマーリーの現代イスラーム思想：ウンマ論とワサト主義を中心に」

第6部会

9:00-9:40 清水 学（前帝京大学）

「グローバル化・金融化のなかの中東経済」

9:45-10:25 岡室 美恵子（NPO研修・情報センター）

「ヨルダンの輸出構造分析」

10:30-11:10 安田 慎（帝京大学）

「イスラミック・ホスピタリティ論再考：

アダブ文献におけるディヤーファ・サファルをめぐって」

11:15-11:55 竹村 和朗（日本学術振興会特別研究員）

「ワクフは所有権か：古典学説と現代エジプト法制の比較検討から」

14:50-15:30 池邊 智基（京都大学・院）

「労働の教義と実践：セネガル・ムリッド教団のバイファル」

15:35-16:15 須永 恵美子（京都大学）

「『人間の経済的問題とそのイスラーム的解決策』の出版に関する一考察：

南アジアにおける近代イスラーム経済学の始まりと初期の思想」

第7部会

9:00-9:40 今野 泰三 (大阪市立大学)

「「グリーンラインのイデオロギー」への批判としての「入植地問題」研究の展望」

9:45-10:25 金城 美幸 (日本学術振興会特別研究員)

「パレスチナ亡命以前のムハンマド・アミン・アル＝フサイニーの軌跡：
委任統治下の「政治」と「宗教」の序列」

10:30-11:10 児玉 恵美 (東京外国語大学・院)

「レバノンのパレスチナ解放運動：難民キャンプにおける動員と参加から」

11:15-11:55 山本 健介 (京都大学・院)

「エルサレムと聖地ハラム・シャリーフ／神殿の丘の帰属問題：
オスロ合意以降のパレスチナ人の政治とヨルダンの関与をめぐって」

14:50-15:30 鈴木 啓之 (日本学術振興会特別研究員)

「「無名」パレスチナ人の回顧録刊行：中東現代史を見る新たな資料としての考察」

15:35-16:15 池端 路子 (京都大学・院)

「ウンマ・汎イスラーム主義・国民国家：OIC研究序論」

第8部会

9:00-9:40 店田 廣文 (早稲田大学)

「在日イスラーム団体における機能付与と持続可能性：宗教法人格取得に注目して」

9:45-10:25 岡井 宏文 (早稲田大学)

「在日イスラーム団体の形成と諸活動の展開：
タブリーギー・ジャマーアトと多文化的状況に注目して」

10:30-11:10 子島 進 (東洋大学)

「ボランティア活動を通して見えてくるイスラームの価値観：
比較文化論の視点から」

11:15-11:55 リーム・アハマド (カイロ大学)

「エジプト人の日本発見：ジルジャーウィーとムハンマド・アリー公の『日本旅行記』」

14:50-15:30 岡崎 弘樹 (独立研究者)

「シリアの記録映画にみる政治的、社会的矛盾の表象：
オマル・アミララーイの農村三部作を通して」

15:35-16:15 外山 健二 (山口大学)

「アメリカ文学のイスラーム：第一次報告」